

令和7年第3回定例会

一般質問通告書

厚真町議会



令和7年8月29日

厚真町議会議長 渡部 孝樹 様

通告議員氏名

打坂 泰宏



第3回定例会一般質問通告書

下記のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
水質改善義務化の対応について	環境省は今年の2月に、健康への悪影響が指摘される有機フッ素化合物のPFASを水道法上の水質基準に引き上げる報告書案をまとめた。定期的な検査を義務とし安全対策につなげるもので、2026年4月より施行されます。そこで厚真町での現段階の対応、今後の対策はどのように行っていくのか、町長の見解を伺う。	町長
心のケアについて	厚真町では2018年の胆振東部地震後に住民の心の状態を調べるために、毎年アンケート調査を実施しています。本年度の結果の速報値として、回答した町民496人のうち5.4%の27人が心的外傷後ストレス障害、いわゆるPTSDやうつ病の可能性のある要配慮者に認定されたと報道されています。要配慮者の割合は年々減少傾向にあるものの、新たに認定される町民もいるということです。行政として、そういった方々に対するケアを今後どう対応していくのか、町長の見解を伺う。	町長

(注) 質問の要旨は具体的に記載すること。

厚 真 町 議 会



No. 2

令和7年9月3日

厚真町議会議長 渡部孝樹様

通告議員氏名 伊藤 信太郎 (伊藤 信太郎)

第3回定例会一般質問通告書

下記のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
高丘地区大規模開発跡地利用について	今後の上水道工事、アプローチ道路の整備、放牧予定地の地力をつけていく対応など、公費投入が予想されるが、どのような計画か。 また、放牧予定地については、ゴルフ場跡地で、表土を掘り返した問題や、地震後の土砂搬入で土の中に岩がある問題があるなど解決しなければならない。1頭1haで200頭なら200haの土地の改善となる。まだまだ相当な時間がかかるし、経費も多くかかる事が予想される。この件では、民間業者とどのように進めていくのか、町長の現時点での考えは	町長
アンコンシャス・バイアスのまちづくり	「地方創生2.0」の議論で、若者や女性に選ばれる地域をつくる際に必要となる「アンコンシャス・バイアス」に気づく事が求められ、この長期的視点に立つまちづくりが必要とされている。 1. 町内又は職場内の若者・女性の「リアルな声」をつかんでいるのか。 2. 町、各職場での意識改革等、啓発活動を進めていく事が出来ないか。	町長

(注) 質問の要旨は具体的に記載すること。

厚 真 町 議 会



No. 3

令和7年9月3日

厚真町議会議長 渡 部 孝 樹 様

通告議員氏名

橋 本 豊 

第3回定例会一般質問通告書

下記のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
道道、町道に設置されている土嚢フレコンの撤去について	胆振東部地震から7年が経過した中で、応急対応として道路側の歩道にフレコン土嚢が設置され、いまだに回収されていない箇所があります。地域によっては、日常生活、散歩などに支障をきたしているため、早急に撤去できないものか	町長
道路の維持管理について	町内には道道、町道と町民の生活には欠かせない道路が複数、数千mにも及んでいるところです。そこで普段利用している道路の維持管理について問います。 ①町内の道路に埋設している横断管の前後の道路が不陸状況にあるため改善できないのか ②道路上にゴミが入ったレジ袋や空き缶のポイ捨てが目に入ります。小動物がそのゴミを散らかし、道路走行に支障をきたし事故に発展しかねない状況にあるため、町の方で、ポイ捨て禁止の啓発活動と、各地域に啓発看板を設置することは出来ないのか。	町長

(注) 質問の要旨は具体的に記載すること。

厚 真 町 議 会



令和7年9月8日

厚真町議会議長 渡部孝樹様

通告議員氏名

菅原文子 

第3回定例会一般質問通告書

下記のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
防災・減災について	令和7年度の町長施政方針の中で、防災対策と津波に関する計画書の策定について述べられている。 今年度、計画予定の案件について現在の進捗状況を伺う。また、7月30日にカムチャツカ半島付近で発生した地震の影響で、本町では津波警報の発表を受け、一部地域に避難指示が出された。町内外の方々が避難されたと報告を受けたが、発表後から避難所を閉じるまでの間で、何か気づいた点や問題点があれば伺う。 本町では、多くの事業の推進により他市町からの移住者が増加している。今後、ますますの増加が期待されていることにより、マイ・タイムライン作成の呼びかけや、作成の仕方などを再度、お知らせをする必要を感じているが、町長の考えを伺う。	町長
ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の推進について	町内におけるZEB推進についての見解と、現在進行している計画の進捗状況を伺う。	町長

（注）質問の要旨は具体的に記載すること。

厚 真 町 議 会



No.5

厚真町議会議長 渡 部 孝 樹 様

令和7年 9月 8日

通告議員氏名

澤口 千 里

第3回定例会一般質問通告書

下記のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
切れ目のないケア ラー支援につ いて	社会問題が複雑多様化する中で、家庭での育児や介護といった生活上の負担は多くの住民にとって日常的な課題となっている。そして子育てだけでなく、親族の介護といった様々なケアの負担の多くが、いわゆる 30～40 代の働き盛りの世代にのしかかっているという現状がある。 産後ケアからライフステージごとに切れ目なく支援が必要であり、地域社会としても幅広い対応が求められると考えるが、下記の通り町長の見解を伺う。 ・要介護や障害、受給者証や不登校といった様々な要因の認定までにかかる期間を、公的支援の空白期間にしない取り組みが必要ではないか。 ・既存制度を活用し、ケアと仕事の両立支援として相談業務からアセスメントを行い、スポット支援を提供することを検討できないか、町長の見解を伺う。	町長
本町の財政につ いて	① 本町の財政について、人口と町税額の推移は必ずしも連動していると分析できないが、人口減と物価高によって本町の税收や財政運営にどのような影響が及ぶと見込んでいるか。 また、基金は数年繰入を行いながらも、残高は増加している。この積立の原資は何か。将来に渡り、基金をどのように維持・活用していくか、町長の所見を伺う。 ② 近年の物価高の影響により、施設維持費や運行コストを含めた経費は上昇していく一方、町の様々な使用料は据え置きのままとなっている。 公共施設や行政サービスの持続可能性を守るため、料金水準や算定根拠を定期的に検証・見直す仕組みを導入すべきと考えるが、町長の所見を伺う。	町長

(注) 質問の要旨は具体的に記載すること。

厚 真 町 議 会

	う。 ②-1 デマンド交通「めぐるくん」の運行に係る経費と運賃収入はどの程度か。また、利用者数の推移、傾向や、特に高校生などの新しい利用層の実態はどのように把握しているか。持続可能な運行に向けた課題と方針について伺う。 ③ 近年の町税に占める未収額の割合は 0.1%程度であるが、使用料に占める未収額の割合は約 8%であり 1,000 万円を超えている年もある。 回収業務における体制や債権管理方法の現状と課題、未払い発生の予防策等に関する今後の方策について町長の所見を伺う。	
--	--	--

(注) 質問の要旨は具体的に記載すること。

厚 真 町 議 会